

1 J R 磐田新駅設置について

1 9 8 7 (昭 和 6 2) 年 9 月 に 7 , 4 5 5 人 分 の 署 名 を 集 め た 請 願 書 が 市 議 会 で 採 択 さ れ 、 翌 年 J R 東 海 に 要 望 書 が 提 出 さ れ た 。 平 成 6 年 に は 磐 田 市 と J R 東 海 と 基 本 方 針 が 締 結 さ れ た 。 そ の 後 磐 田 市 と J R 東 海 が 協 議 を 重 ね る 中 で 、 2 0 1 9 年 度 末 の 開 業 を 目 指 し て 新 駅 を 設 置 す る こ と で 合 意 し 、 4 月 9 日 に 基 本 協 定 を 磐 田 市 、 磐 田 市 新 貝 土 地 区 画 整 理 組 合 、 磐 田 市 鎌 田 第 一 土 地 区 画 整 理 組 合 と J R 東 海 4 者 で 締 結 し た と 、 報 道 さ れ て い る 。 基 本 協 定 の 主 な 内 容 は 、 具 体 的 設 置 費 用 は 原 則 と し て 地 元 で 負 担 、 新 駅 設 置 に 必 要 な 用 地 は 市 と 組 合 で 用 意 す る 、 な ど と の こ と で あ る 。

(1) 締結した基本協定書の具体的内容について伺う。

(2) 具体的設置費用は原則として地元で負担とされているが、総事業費 4 9 億円の具体的内訳と財源は。

新駅設置において J R の 負 担 部 分 は な い の か 伺 う 。

(3) 市長は、基金設置や寄付を募って資金を工面するという事も述べている。強制的寄付は問題であると考えます。基金設置や寄付を募る理由、具体的計画について伺う。

(4) 豊田町駅を建設するにあたり、土地区画整理組合が J R に 土 地 を 提 供 し た と 聞 い て い る 。 今 回 の J R 磐 田 新 駅 建 設 に あ た り 土 地 の 提 供 が あ る の か 伺 う 。

(5) 新駅設置に係る今後の土地区画整理組合の事業計画と財源計画について伺う。

(6) 駅名は今後、J R 東海が決めるとされている。しかし、住民は区画整理で土地を提供し、駅名についても楽しみにしている。住民の意見や公募での駅名決定の考えはないのか伺う。

- (7) 市長は、記者会見で「周辺地域は住宅、商業施設、勤務先となる工場がそろっている。駅ができれば、徒歩圏内で生活できる『コンパクトシティ』になる。県内で人口減少が進む中、若い世代が住みやすい街づくりを進めたい」と述べたと報道されている。

今後のまちづくりについての考え方、駅ができれば「コンパクトシティ」になると言われているが、「コンパクトシティ」について考え方を伺う。

また、駅周辺での公共施設の配置や緑の保全について伺う。

2 医療制度について

- (1) 医療・介護総合推進法案の問題点と市民への影響

安倍内閣が国会に提出した「医療・介護総合推進法案」は、介護と医療について大幅な負担増と給付減を盛り込んだ重大な法案である。医療では、「機能分化」の名で、看護師配置が手厚い「急性期病床」を削減し2年間で36万床のうち9万床も減らす計画である。

また、医療・介護が連携してサービスを提供する「地域包括ケアシステムの構築」の名で、都道府県に基金をつくって医療機関や介護施設に対する補助などを行うとしている。法案にはこのほか、医師が行うべき医療行為を看護師に研修だけで肩代わりさせることや、第三者委員会による医療事故調査制度なども含まれている。法案は、問題点が多く実施されれば市民にも大きな影響が考えられる。見解を伺う。

- (2) 看護師の労働実態と医療ミスの現状と課題

医療関係者でつくる県看護連絡会が、県内の看護師の労働実態調査を発表した。過去3年間に医療ミスやニアミスの経験があると答えたのは全回答者の9割近くに上っているとのことである。市立総合病院の現状と課題について伺う。

3 市民要望の充実を

(1) アレルギー対応食の備蓄状況と今後の対応

地震などの災害時には、普段通りの食事をとることが困難になる。東日本大震災の際に、被災地で学校給食の提供ができなくなったことをきっかけに全国学校栄養士協議会が学校備蓄用のアレルギー対応の非常食「救給カレー」を開発した。協議会は学校の備蓄向けに普及を目指している、とのことである。アレルギー対応食の備蓄状況と今後の対応について伺う。

(2) 図書館業務の改善と職員の待遇改善

図書館は住民の読書のための資料の提供に加えて、住民の課題解決を支援するという役割を担っている。

利用者からは蔵書の充実や利用時間の延長を求める声がある。見解を伺う。

また、全国的に公立図書館で働く職員の非正規化が進んでいる、との新聞報道もある。磐田市の現状と図書館業務の充実には待遇改善が必要だと考えるが見解を伺う。

(3) 住民が使いやすい磐田駅北口広場の整備

今年度から磐田駅北口広場西側ロータリーの工事が始まる。朝の通勤・通学時間帯に駅に来る車が多い現状をみて、計画での降車専用スペースでは利便性がはかられないのではと市民は心配している。

市民の声に応えるものに整備されるのか伺う。

また、多目的ゾーンの具体的内容についても伺う。